



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社エムジーホーム 上場取引所 東・名  
 コード番号 8891 URL http://www.mghome.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)辻本 正人  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)林 邦彦 (TEL)052(212)5110  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	919	2.8	△59	—	△54	—	△66	—
28年3月期第1四半期	894	—	△62	—	△61	—	△59	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △69百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△23.42	—
28年3月期第1四半期	△20.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,998	1,584	31.4
28年3月期	4,805	1,670	34.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,568百万円 28年3月期 1,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	△12.3	△20	—	△12	—	△10	—	△3.50
通期	7,000	10.2	340	18.5	340	22.5	280	20.7	97.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	2,906,048株	28年3月期	2,906,048株
29年3月期1Q	48,200株	28年3月期	45,100株
29年3月期1Q	2,858,170株	28年3月期1Q	2,906,048株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①全般の業績概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移しております。しかしイギリスのEU離脱問題、中国をはじめとする新興国の減速懸念など先行き不透明な状況が続いております。

この様な経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高919百万円（前年同四半期は894百万円）、営業損失59百万円（前年同四半期は62百万円）、経常損失54百万円（前年同四半期は61百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円（前年同四半期は59百万円）となりました。

## ②事業の種類別セグメントの業績概要

当社は、平成27年8月1日付でエムジー総合サービス株式会社（以下「総合サービス」という。）の発行済株式の80%を取得し、当社の子会社といたしました。総合サービスは当社のモアグレースマンション及びその他の不動産の管理事業を行っており、これらを「不動産管理事業」とし、報告セグメントを従来の「分譲マンション事業」、「賃貸事業」及び「注文建築事業」の3区分から、「分譲マンション事業」、「賃貸事業」、「注文建築事業」及び「不動産管理事業」の4区分に変更しております。

## (分譲マンション事業)

マンション業界は、建築資材及び工事労務費の高止まり、プロジェクト用地の仕入価格の高騰の影響を受け、販売価格が高騰しており、厳しい環境が継続しております。

そのような環境下、当社は当第1四半期において、前期末より残っていた未契約物件1戸と、前期に契約済みの9戸の引渡しを行い、完成在庫はゼロとなりました。

また、上記のほか当期完成予定のマンション5棟のうち2棟（岐阜県岐阜市27戸、岐阜県羽島郡岐南町28戸）と来期完成予定の1棟（名古屋市西区44戸）を発売し、当第1四半期末までに38戸が契約済みとなっております。

この結果、売上高278百万円（前年同四半期は471百万円）、セグメント損失（営業損失）13百万円（前年同四半期は21百万円のセグメント利益）となっております。

## (注文建築事業)

注文建築事業につきましては、新築3棟及び大規模改修等6件の引渡しを行っております。また、引渡し済み物件を含め、6件の工事について工事進行基準に基づき、売上を計上いたしました。

以上より、売上高526百万円（前年同四半期は319百万円）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同四半期は37百万円のセグメント損失）となっております。

## (不動産管理事業)

不動産管理事業につきましては、分譲マンション199棟4,852戸の管理及び、賃貸物件の退去に伴うリフォーム94戸、マンションの大規模修繕のコンサルタント1件などにより、セグメント売上高104百万円、セグメント利益（営業利益）14百万円となっております。

## (賃貸事業)

賃貸事業につきましては、当社にて16戸のマンション、株式会社アーキッシュギャラリーにおいて4戸のマンションと1棟の戸建、エムジー総合サービス株式会社において土地1筆を事業に供しております。

その結果、売上高11百万円（前年同四半期は12百万円）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同四半期は6百万円）となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ226百万円増加いたしました。これは主に売掛金が35百万円、仕掛販売用不動産が519百万円増加し、販売用不動産が229百万円減少したことによります。

固定資産は1,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が13百万円、土地が6百万円、保険積立金が14百万円減少したことによります。

この結果、総資産は4,998百万円となり前連結会計年度末に比べ193百万円増加いたしました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に前受金が137百万円増加し、買掛金が223百万円減少したことによります。

固定負債は、1,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計は3,414百万円となり前連結会計年度末に比べ279百万円増加いたしました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は31.4%（前連結会計年度末は34.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初計画どおり推移しており、平成28年5月9日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労引当金の計上)

株式会社エムジーホームにおいて、平成28年4月22日開催の取締役会で役員退職慰労金規定の施行を決議しました。これに伴い、役員退職慰労金の支出に備えるため、同規定に基づく期末要支給額を役員退職慰労金引当金として計上しております。

これにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が26,580千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	973,471	887,753
売掛金	92,142	128,088
販売用不動産	286,837	57,408
仕掛販売用不動産	1,586,219	2,105,854
前渡金	100,078	102,897
その他	49,987	33,168
流動資産合計	3,088,737	3,315,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	803,083	783,041
土地	631,501	625,413
その他	121,537	121,831
減価償却累計額	△393,553	△388,793
有形固定資産合計	1,162,569	1,141,493
無形固定資産		
のれん	340,769	336,203
その他	5,854	5,836
無形固定資産合計	346,624	342,040
投資その他の資産	203,299	196,549
固定資産合計	1,712,493	1,680,083
繰延資産	3,808	3,350
資産合計	4,805,039	4,998,604
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	563,466	340,451
短期借入金	279,000	364,500
1年内返済予定の長期借入金	683,592	681,092
前受金	196,656	333,746
その他	238,725	162,105
流動負債合計	1,961,439	1,881,895
固定負債		
社債	51,000	51,000
長期借入金	1,004,736	1,335,713
繰延税金負債	3,478	3,352
退職給付に係る負債	55,818	56,879
役員退職慰労引当金	45,380	73,035
その他	13,135	12,266
固定負債合計	1,173,548	1,532,247
負債合計	3,134,988	3,414,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,168,021	1,168,021
資本剰余金	165,771	165,771
利益剰余金	374,631	293,185
自己株式	△43,689	△45,089
株主資本合計	1,664,735	1,581,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,600	△13,387
その他の包括利益累計額合計	△8,600	△13,387
非支配株主持分	13,915	15,959
純資産合計	1,670,050	1,584,462
負債純資産合計	4,805,039	4,998,604

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	894,276	919,223
売上原価	782,835	750,595
売上総利益	111,441	168,627
販売費及び一般管理費		
役員報酬	10,454	17,089
給料及び手当	59,031	76,787
役員退職慰労引当金繰入額	2,551	27,655
その他の人件費	11,503	17,762
減価償却費	1,507	2,933
租税公課	5,906	5,393
広告宣伝費	19,266	28,722
賃借料	11,046	10,961
その他	53,166	40,935
販売費及び一般管理費合計	174,432	228,242
営業損失(△)	△62,991	△59,614
営業外収益		
受取配当金	1,158	1,116
雑収入	5,313	11,362
その他	344	6
営業外収益合計	6,815	12,485
営業外費用		
支払利息	4,929	4,361
その他	696	2,895
営業外費用合計	5,626	7,257
経常損失(△)	△61,802	△54,386
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,802	△54,386
法人税、住民税及び事業税	591	3,665
法人税等調整額	△2,584	6,845
法人税等合計	△1,993	10,510
四半期純損失(△)	△59,809	△64,896
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,044
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59,809	△66,940



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△59,809	△64,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△519	△4,787
その他の包括利益合計	△519	△4,787
四半期包括利益	△60,329	△69,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,329	△71,728
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,044

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	471,486	319,001	12,437	802,925	91,350	894,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	471,486	319,001	12,437	802,925	91,350	894,276
セグメント利益又は損失(△)	21,075	△378	6,236	26,933	1,149	28,083

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の戸建用地の販売と、株式会社アーキッシュギャラリーが行っている不動産販売事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	26,933
「その他」の区分の利益	1,149
のれんの償却額	△3,851
全社費用(注)	△87,224
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△62,991

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	278,315	526,153	103,556	11,197	919,223	—	919,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	704	690	1,394	—	1,394
計	278,315	526,153	104,260	11,887	920,617	—	920,617
セグメント利益又は損失(△)	△13,005	33,359	14,766	4,101	39,222	—	39,222

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	39,222
「その他」の区分の利益	—
のれんの償却額	△4,566
全社費用(注)	△94,270
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△59,614

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成27年8月1日付でエムジー総合サービス株式会社(以下「総合サービス」という。)の発行済株式の80%を取得し、当社の子会社といたしました。総合サービスは当社のモアグレースマンション及びその他の不動産の管理事業を行っており、これらを「不動産管理事業」とし、報告セグメントを従来の「分譲マンション事業」、賃貸事業及び「注文建築事業」の3区分から、「分譲マンション事業」、「賃貸事業」、「注文建築事業」及び「不動産管理事業」の4区分に変更しております。